

柏ビレジ自治会発行



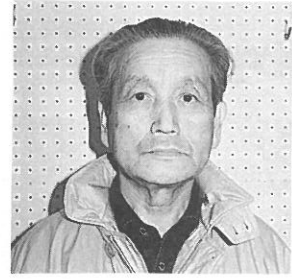
柏ビレジ・ニュース



1991年12月15日

田中地区市民運動会に参加して

服部 博



十月二十日、台風接近による雨天のため、一週間順延した運動会であったが、当日は薄日で風もなく大会にふさわしい日和に恵まれた一日であった。準備体操は美容体操の先生及び、その一門による指導で行われたが、ラジオ体操とは一味違うユニークな動きが初体験の私には新鮮に思われ、又大変適切に感じられた。

各町会対抗の競技については柏ビレジの面目にかけては事業部や総務部の役員諸氏の入念な準備が効を奏して、六百メートルリレーや球運びリレー、団体長縄飛び等、大量得点を獲得してくれた。結果としては優勝を逸し、二位に終わったのは残念であったが、選手諸君の健闘には心から拍手を送りたい。

対抗競技以外でも玉入れや、ジャンケンゲームでは老人から子供まで和気藹々に打ち興じ、女性だけのかしコンクールでは、柏の

昔を思い起させるような土の香の漂う面白い競技であった。応援について言えば小学生の有志諸君の熱烈な声援と大鼓と缶々のひびき、中でもリーダーの伊藤君の小さな身体から出るとは思われないほどの大きな声の音頭、ほんとうによく頑張ってくれた。きつと二、三日は声が出ないのではないかと心配している。

当日の参加十八地区のうち、我が柏ビレジは最大の世帯数であるが、日時が変更した事も一因ではあると考えられるが、参加して下さった方は以外に少なかつたのは残念である。綱引きやリレー等にしても、きつとかくれた力持ちや足の早い人が大勢いるに違いないと思う。

PR不足かもしれないがもつともつと大勢の人の積極的参加を得られるようにしたい。

柏の人口は現在約三十一万人、そのうち九割は他の都市から移って来た人々の由、田中地区の合同イベントには出来るだけ大勢の参加をして頂いて、他地区との親睦を計ることも大切な時期に来ているのではないだろうか。

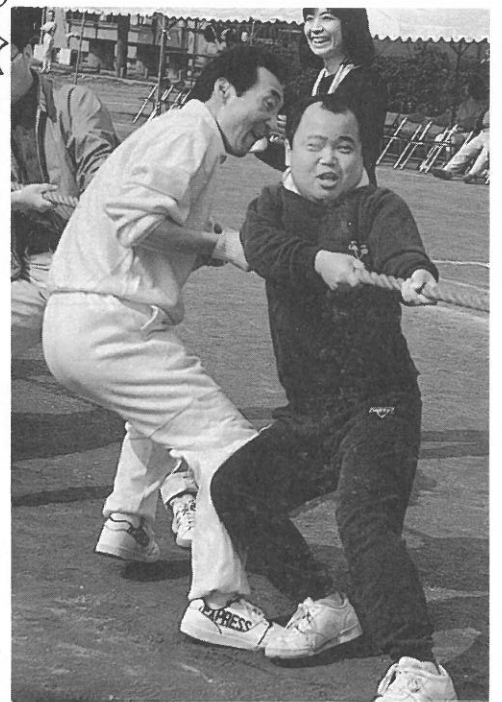
何事も事前準備が大変と



は頭の中で承知しているが今回の一日の参加のためには、一週間以上も準備が必要という事が良く分った。役員縁の下の御苦労と選手諸氏の御活躍、それに応援団の諸君の大声援に心から感謝を申し上げる。



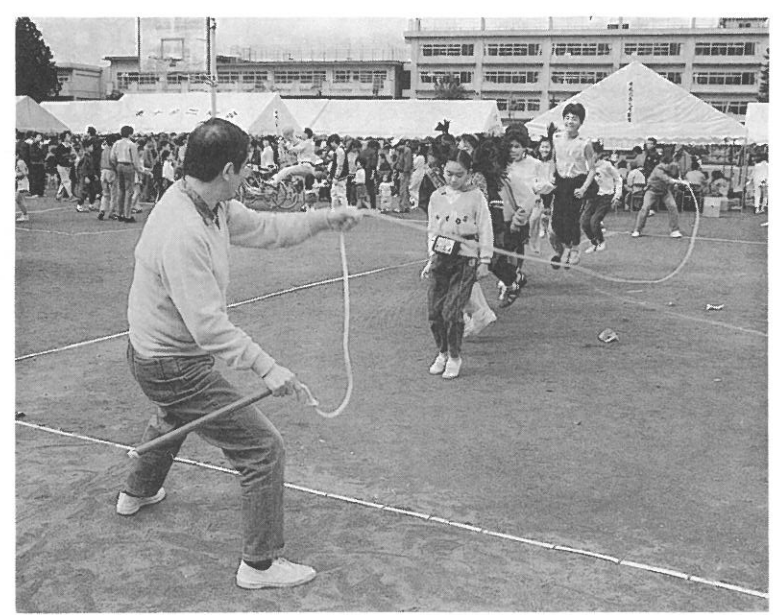
総合二位!!
「今年こそビレジに優勝旗を」と住民の皆さん、よくがんばったのですが……



長縄飛び

三長原 東弘 裕紀子

十月二十日、田中中学校で、たくさんの方が集まり運動会が行われました。私たちは大人で飛ぶ長なわ飛びに挑戦してみました。練習があるからということでお昼ごろから田中中学校に行き、さっそく練習が始まりました。最初は、たくさんの人たちと息が合うかどうか心配でした。そして練習が始まり一回目は、二、三回しか飛ぶことができませんでした。これからどうなるかと、ますます心配になるばかりです。でも何回かやっていると、だんだん息が合ってくるようになって、二十回近く飛べるようになってきました。それから休けいをして、いよいよ本番となりビレジの番が来ました。待っている時は、すごくきんちようして練習する前と同じようにとても心配でした。



ように飛んでいました。すると、五十四回目でひっかかってしまった人がいて、安心したのと同時にもうちょっと飛びたかったなあ……という気持ちになりました。けれど、練習の時よりもずっと多く飛ぶことができたので、私たちに与えられた、二回目に乗りました。またがんばるぞ！と、飛んだしゅんかん、あれ？ もうひっかかったのかなあ？ と思った時にはやはりそれは現実となって

いきました。でも五十三回というとてもいい記録ができたので、うれしい気持ちでいっぱいでした。でもこの五十三回をやぶり、六十回六十一回というすばらしい記録を出したチームも現れました。でも、結果はたくさんさんのチームの中から三位でした。みんなと協力して一つのことをやりとげたことは、とてもよい思い出になりました。



六〇〇Mリレーに参加して

市東 久



市民運動会のリレーで走ろうと思いついた動機は、家族に自分がどの位の早さで走れるかを証明する必要があったからでした。というのは、7才の娘と5才の息子は共にロンドンで生れ育った為、父親の走る姿など見る機会もなかったし、ワイフも結婚して十年経ちましたが、すぐロンドンに行ってしまうので、話には聞いても実際に走る姿など見ていません。得意だ」と謂っても信用していませんでした。加えて私は学生時代柔道(三段)

をしていましたので、尚更、走るのが得意と謂っても全くとりあつてももらえない始末でした。そこで父親の權威の復権ではありませんが市民大会に出て走る以外に方法がないと確信した次第なので、25年前の中学生時代に走つて以来でしたので、少々不安はありましたし六〇〇Mリレーでは男子は二〇〇M走ると知って若干の計算違いはありましたが、総合二位に少しでも貢献できて良かったと思います。来年は是非総合一位を飾りたいですね。

賞状

総合二位
柏ビレジ町会
貴町会第百五十回田中地区市民運動会において頭書の成績を収められた
依つてその栄誉を称えここにこれを賞状とす

平成三年十月二十日
田中地区市民協会の
大会会長 平川哲夫
実行委員長 染谷正三

賞状

子供長健栄
第百位 柏ビレジ町会
貴町会第百五十回田中地区市民運動会において頭書の成績を収められた
依つてその栄誉を称えここにこれを賞状とす

平成三年十月二十日
田中地区市民協会の
大会会長 平川哲夫
実行委員長 染谷正三

賞状

六百米リレー
第百位 柏ビレジ町会
貴町会第百五十回田中地区市民運動会において頭書の成績を収められた
依つてその栄誉を称えここにこれを賞状とす

平成三年十月二十日
田中地区市民協会の
大会会長 平川哲夫
実行委員長 染谷正三



祝 御長寿

九月二十九日(日)田中地区敬老会が田中中学体育館にて開催されました。当日は台風の影響による雨が降る中、田中地区の老人達大勢が出席されました。柏ビレジ内では、この会への対象者が約百七十名おられ、また、年々この人数は増えています。その日の催しものの中で市立柏高校のブラスバンドによる演奏が最も迫力があり、老人のみならず手伝いに行った我々自治会役員も、その演奏の素晴らしさに聞き入っていました。ビレジ内にも昨年近隣公園にゲートボール場が出来ました。田中地区の地域活動をはじめ、各種交流を涌じて、いつまでも元気に活躍下さい。



第六回文化祭を終えて

田村恵子

去る十一月十七日、花野井小に於てビレジの第六回文化祭が開催されました。当日は、素晴らしい秋晴れに恵まれ、又、花野井小で行われたウォークラリーと重なり、例年になく大勢の入場者を迎えられた事は、実行委員会として大変喜ばしく思っております。

今年の出品、出演者は総勢二〇〇名を超えました。普段は殺風景な体育館も、次々と運び込まれる多種多様な作品群で埋め尽され、みるみるうちに華やいだ。

「文化会館」に変身。当日朝早く届けられた鈴木柏市長の祝電をはじめ、来賓の方々にも御来場頂き、会場は和やかさに包まれていました。

制作に何ヶ月もかけたという絵画やパッチワーク、刺繍、ニット、染色等をはじめ、写真、書、和紙絵、生花、アートフラワー、紙粘土の人形たち、初参加の点訳絵本、プラモデル、手作りの神輿、十五年間も丹精込められた盆栽、そして子供たちの可愛い作品の数々、どれをとっても日頃の努力が偲ばれる見応えのあるものばかりでした。そして、それらの作品を前に、



じつと見入る人、質問する人、カメラを向ける人等と一つの作品を通して豊かな心の触れ合いの場があらわらちらで見られました。又お茶席ではガールスカウトの皆さんが、お点前を披露され、楽しそうな語らいの場が続いていました。

午後から始まった演奏の部では、子供達による力強い和太鼓の響きを皮切りに、深い味わいをもった詩吟、リズムカルなマリмба、慈愛に満ちた美しいハーモニイの女性合唱、そして最後

「菊と一諸に撮りましょう、よく撮れたら差し上げますよ」に気をよくしてたら、あとがいけなかった。「原稿をひとつお願いしますよ。菊造りのでも」とき

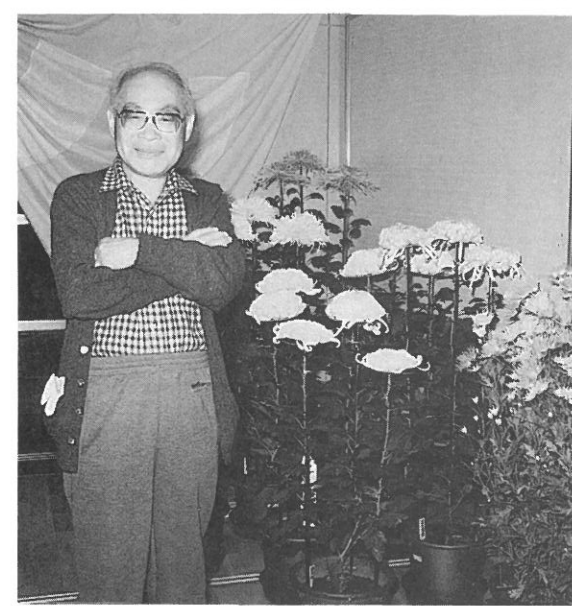
生来の筆不性もの、賀状の散文にもこと欠く始末なのだが、役員方の取材活動には、その都度大変御苦労して断り切れず承知する。菊造りと言っても、わたしの菊造りとは、ただ咲かせる楽しみ、そして見る楽しみだけの我流仕立なので、少しも心得のある人からみれば欠点だらけ、ことに今年日照不足、長雨、台



緑に彩りを添えて

森本義太郎

風の追い打ちで、蕾も仲々大きくは育たず、一時は文化祭への出品は無理と半ば諦らめてたが、時がくれば鳥は啼き花も咲く。のたとえで、どうやら開花したものの全体に不揃いで、人様に見せられる様な出来ではなかったが、只わたしも盆栽会の一員として花の少ないこの時季、みどり一色の盆栽コーナーにまたお茶席よりの眺めに彩りを添えるという事で、今後もある得る限りの出品参加に努めたいと思っております。



ビレジにも居た鳥人間 (グライダーで日本記録)

森本則文

直線距離六九〇キロ// 大した記録ではなかったのですが、17年間破られなかった滑空機(ハンングライダー)ではありません)の直線距離の日本記録を二〇〇キロメートル以上更新できたことが、この度全国紙の朝刊に取り上げられました。一九八六年から、冬はオーストラリアの広大な牧草地の続く大平原で、夏はアメリカの砂漠と山岳地帯の上空でグライダーによる記録に挑戦し続けてきました。

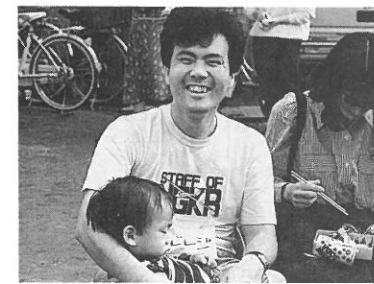
今年初めてスポンサーが付き、世界最高性能を持つベンタスCM型を使用することができたおかげで、滑空機の距離部門で二つ、動力滑空機(離陸時のみ胴体後部に格納された折りた

四月にかけて、高度記録(酸素マスクを付けての八千メートルを超える飛行)にトライし、来年六月、七月には距離記録として、八百キロ、千キロのロッキン山脈越えにトライする予定です。

現在、空のF1に近づけようと、テレビ放映、新聞、雑誌掲載を条件としたスポンサーを募集しております。只今、テレビ番組製作者、スポーツ、科学、娯楽、イベント、環境等、数社の方々と特集番組製作について打合わせをしています。

スポンサーの会社のマーキングも鮮やかに世界の空を、日本の空を優美に舞い飛翔する姿をマスコミを通じてお目にかける日の近いことをお約束致します。広告スポンサーに関してご興味がおありになる方、ご紹介いただける方は、左記まで御連絡下さい。

◎スカイスポーツプロモーションズ(ポランティア) 千葉県柏市大室一〇八三 一三(一四一街区八) TEL三三一九二〇二 森本則文



共有施設管理組合からのお知らせ 「JSB」共同受信について

共有施設管理組合では、J S B の共同受信について検討を重ねて来ましたが、以下三点の考え方に基づき共同受信することは見送りとするごましました。

「考え方 一」

J S B を共同受信するためには、現在の設備をそのまま生かし、設備増設だけで対応しても、その設置費用に三千五百万円以上の資金負担が必要となります。

その費用は、当然組合員一人ひとりが負担する組合費において賄われます。

現在のJ S B 放送は一チャンネルのみ。本件に関する問い合わせがほとんど無い現状、組合員のニーズとして大きなものがあるとは考えずらく、今後の施設維持管理の費用負担も考え合せると、組合としてこれだけの多額負担をすることは、時期尚早と思われる。

「考え方 二」

通信衛星放送は、今後も多様化され、更に、チャンネル数も増えていくことが予想されており、現実的に従来のテレビ番組的なものだけでなく、企業向、特定個人向の専門的かつ限定された層に対する番組を提供する会社の設立が相次いでいます。従って、今後の展開

として受信するあらゆるソフト、ハード両面において新しいシステム、機械が出現されて来ることは十分に考えられます。

こうした時期に、選択の余地の無いJ S B が唯一許可している共同受信方法を

取入れ設備投資することはその設備そのものが無駄になる可能性もあり、最善の策とは考えづらひ。

「考え方 三」

一九九一年八月二十九日付で、柏市が情報都市としての認定を受け、十年計画で「地域の情報化システム造り」に取組むことが発表されました。その計画の一つに都市基盤整備として

(共同受信システムC A T V) の検討も始められました。現在までの検討状況は市政として提案はされませんが、具体的にどうするといった段階に無く、行政が直接事業として行うことは、その性格から馴染まないとされており、民間の企業が商業ベースで受け、市がその事業全体の纏め役と成る方向で検討していくと

思っています。(すでに、いくつかの企業からの申入れがある様ですが、市としては柏市内の地元企業を優先的に受入れたい方針)

以上のことを勘案すると十年計画と先のある計画ではあります。C A T V の導入が柏市ベースで検討され始めた中で、当組合として結論付けするのは、二重の費用負担になる等の危険もあり、市の検討状況を見ながら、時間をかけて方向付けていく必要があると判断される。

一三の考え方に基づき現時点で、有料衛星放送の

やったね！落ち葉大作戦

トラック六台分の ごみ減量に成功

緑化委員 森 博 子

十二月一日のクリンデーは季節にしては暖かく晴れ上がり、絶好のおそうじ日よりでした。今回始めて落ち葉を、ごみではなく資源として集めるという試みでわくわくしながら家を出ました。

数年前から秋のクリンデーに集まる落ち葉を、ごみにしてしまうのはもったいないと思っていました。思いついてきてみたら田中農協の堆肥組合で車を出してくれとのこと。問題は落ち葉だけ選別して集め

共同受信設備を設置すると結論づけることは、時期尚早と判断、今後の衛星放送の動向および柏市のC A T V の検討状況を見ながら、今後も検討を重ねたうえで最終的な方向性を見出していくこととします。

尚、今回、共同受信を見送りしましたが、当柏ビレジの共有施設の規約において、個別受信アンテナの設置は認められておりません。

従って、今後もJ S B 放送の受信を希望される組合員の方は、理事会に申出いただきますようお願いいたします。

思います。そして十時過ぎに二トン積み二台、一トン積み一台で来たトラックが水辺の公園の集積所だけで満杯(四百袋分)になってしまいました。

時期が遅かった分、例年より量が多くなっていたようです。何より堆肥となつて、葉っぱがまた土に帰るのが嬉しいのです。

来年も秋のクリンデーには、是非落ち葉だけ別に集めて欲しいと思います。

袋は充分用意します。できることなら、クリンデーの前に一回でも落ち葉だけ集める日を決めて、ごみに出さずに資源にできればと思います。

強制になつてもいけないし、一部の方だけの負担になつてもいけないし、難しいところですが、袋は緑化委員の方で用意するということ、一応提案致します。

クリンデーのように一斉にやるのではなく、その日の朝何時までに集積所に出すという形でもいいと思います。農協の方はとりにきてくれます。来年の秋に企画できれば、と思つています。とにかく何年越しかの思いがかなつてとても嬉しいのです。

皆様の御協力のおかげです。



歌集「花野井」より

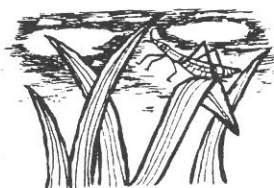
ケーブルとりフト乗り継ぎ

谷川の天神平霧深く捲く

韓国語日本語英語の機内放送

世界は一つ地球は一つ

(歌集「花野井」は戸崎会長の作品集です。)



寒さも一段ときびしくなつてきた今日このごろですが、何とかがんばっている毎日です。

前回の発行から二ヶ月の間に田中地区運動会、文化祭と行事があり、準備に参加にと、何となく忙しい思いをしたような気がします。しかし、もうひとふんばりという気持ちから、12月号は、四面のビレジニュースを発行しました。内容豊富ですのでぜひお読み下さい。

クリスマスが終れば、すぐに新年の平成四年がやってきます。良い歳をお迎え下さい。

編集後記

柏ビレジ大もちつき大会

★1月19日(日)
10時～15時

★柏ビレジ近隣公園

●毎年つき手、こね手が不足しております。
子供たちのためお父様、お母様奮ってのご協力をお願いいたします。